

2018年をふりかえり・・・・・・・・

今年度は年度当初から神奈川県藤沢土木様をはじめ、茅ヶ崎市公園緑地課様によるヘッドランドビーチの砂浜の大規模な整地が行われ、防砂柵も新しくきれいな海浜としてスタートを切ることが出来ました。工事が終了とともに南風の強風が続いたり多くの台風が連続で発生し、特に台風22号では、我々のクラブハウスや多くの注意書き看板、新設された防砂柵、サイクリングロードも甚大な被害に見舞われ工事前よりひどい状況になってしまいました。それに伴いイベント予定も台風のために4件の中止になったほかいくつかは延期になるなど、予定も大きく変動し、人のやりくりにも大変苦労しました。また10月初旬には我々のクラブの顧問でもある茅ヶ崎市長服部信明様の急逝されたことに伴い、昨年12月1日に予定されていた「サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ創立20周年記念式典」も取りやめることとなり、我々の活動にも大きな影響があった年でした。しかしながら20年目の節目の年として前向きな面もありました。当初より本年が20周年ということ踏まえ、10周年の際からユニフォームに関してサポートして頂いていたトランクスのクイックシルバージャパン様、Tシャツのスポーツクラブパルバル湘南様から、今回トランクスをBILLBONG様・Tシャツをムラサキスポーツ様にこれから10年間ご支援いただけることになり、気持ちも装いも一新し1からのスタートと思い活動を行うことが出来ました。また、茅ヶ崎市環境保全課様より「海浜利用者に対するマナー啓発推進事業」も今年度より委託事業となり、これまで以上に責任も重くなり真剣に取り組んでまいりました。今後、茅ヶ崎市全体のごみ処理に対する取り扱いも変わろうとしていく中で海浜に設置されているゴミ箱問題はその前に解決されていなければ、茅ヶ崎市民全体への改革はできないことであり議論されていくのだろうと考えています。どちらにしてもいかなる状況下におかれてもひるむことなく進んでいきたいと思っております。しかし今年の体制から見ても活動人員はさほど多くはなかったため、気持ちの上からも「守りの体制」になってしまっていたのかもしれませんが、それは良い面もあり、悪い面もありました。今年度は気持ちも前向きに「攻めの体制」で行きたいと思っております。各行政様、民間企業様、個人協力者様に支援をしていただいていることへの感謝の気持ちを忘れず皆で力を合わせ活動を続けていきたいと思っております

以 上



サーフ90茅ヶ崎ライフセービングクラブ
代 表 小川 恵一郎